

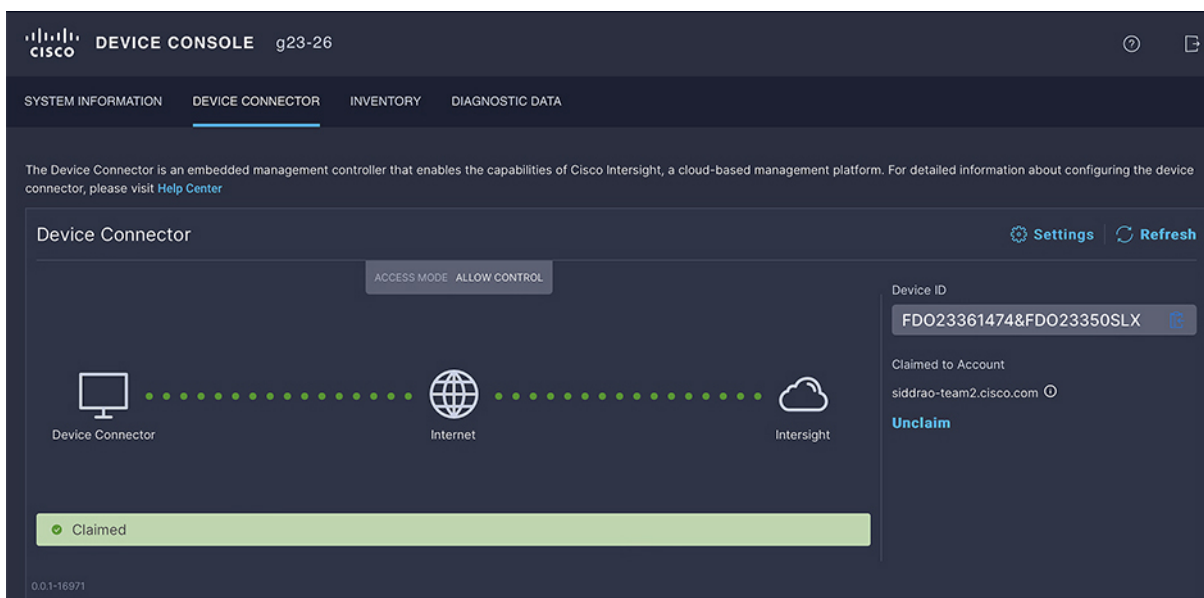


# デバイス コネクタ

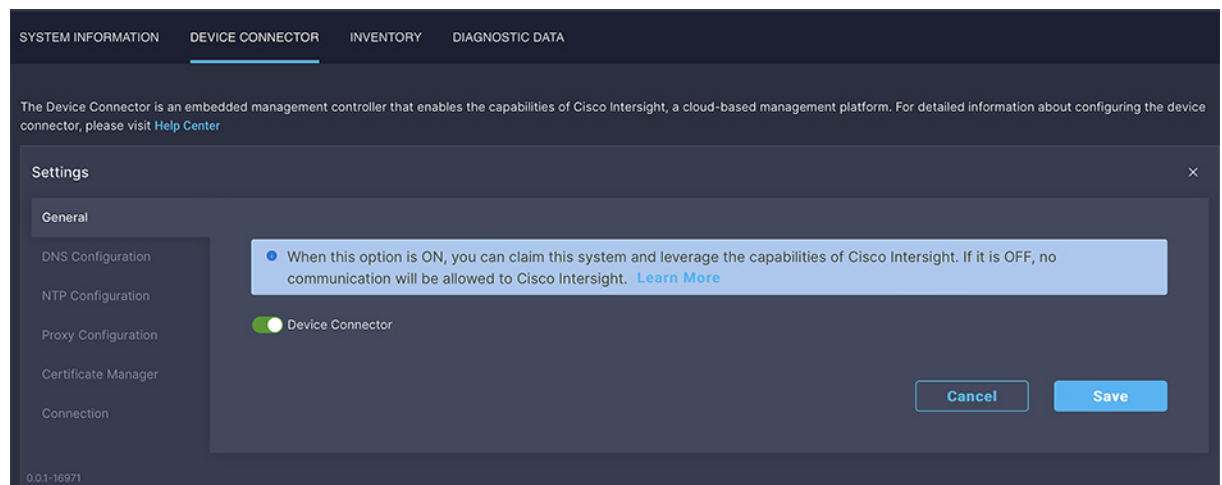
- [デバイス コネクタ \(1 ページ\)](#)

## デバイス コネクタ

デバイス コネクタは、Cisco Intersightの機能を実現する組み込み管理コントローラです。デバイス コネクタ タブには、Intersight でのデバイス コネクタの接続の詳細が表示されます。



[設定 (Settings) ] からデバイス コネクタのパラメータを設定することもできます。



プロパティ (Property)	基本情報 (Essential Information)
[デバイス コネクタ (Device Connector) ]	<p>は、次の内容をグラフィカルに表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• デバイス コネクタ、インターネット、Intersight 間の接続ステータス</li> <li>• デバイス コネクタのアクセス モード</li> <li>• デバイスの要求ステータス。</li> </ul>

プロパティ (Property)	基本情報 (Essential Information)
[設定 (Settings) ]	

プロパティ (Property)	基本情報 (Essential Information)
	<p>次のデバイスコネクタ設定を構成できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[全般 (General)]</b> : Intersight の管理を有効または無効にできます。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[オン (On)]</b> : Cisco Intersight による管理を有効にします。このシステムに対し要求を行って、Cisco Intersight の機能を活用できます。</li> <li>• <b>[オフ (Off)]</b> : Cisco Intersight による管理を無効にします。Cisco Intersight への通信は許可されません。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[アクセスモード (Access Mode)]</b> :  <b>[読み取り専用 (Read-only)]</b> または  <b>[コントロールを許可 (Allow Control)]</b> として、アクセスを構成できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[読み取り専用 (Read-only)]</b> : このアクセスモードを選択すると、Intersight を使用してデバイスを構成できなくなります。</li> <li>• <b>[コントロールを許可 (Allow Control)]</b> : このアクセスモードを選択すると、Intersight を使用してデバイスの構成を完全に制御できます。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[DNS 構成 (DNS Configuration)]</b> — ドメイン名設定 (完全修飾ドメイン名) および DNS サーバー設定 (IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名) を構成できます。</li> <li>• <b>[NTP 構成 (NTP Configuration)]</b> — NTP 設定の構成を許可します。(IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名)</li> </ul> <p>(注) デバイス コンソールの DNS および NTP 構成への変更は一時的なものであり、診断または回復を目的としています。デバイス コンソールの設定に対する永続的な変更は、ファ</p>

プロパティ (Property)	基本情報 (Essential Information)
	<p>ブリック インターコネクタに展開されたドメインプロファイルを介して行う必要があります。</p> <p>• <b>[プロキシ設定 (Proxy Configuration)]</b> : HTTPS プロキシ設定を無効にするか、または手動で構成するかを選択できます。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[オフ (Off)]</b> : HTTPS プロキシ設定の構成を無効にするには、このオプションを選択します。</li> </ul> <p>これが、デフォルトのHTTPSプロキシ設定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[オン (On)]</b> : HTTPS プロキシ設定の構成を有効にするには、このオプションを選択します。</li> <li>• <b>[プロキシ ホスト名/IP (ProxyHostname/IP)]</b> : プロキシのホスト名またはIPアドレスを入力します。</li> <li>• <b>[プロキシポート (Proxy Port)]</b> : プロキシのポート番号を入力します。</li> <li>• <b>[認証 (Authentication)]</b> : プロキシサーバへのアクセスを認証する場合には、このオプションを有効にします。アクセスを認証するための<b>[ユーザ名 (Username)]</b>および<b>[パスワード (Password)]</b>を入力します。</li> </ul> <p>(注) Intersight 管理対象モードのファブリック インターコネクタに対してプロキシ認証が有効になりました。この機能により、ファブリック インターコネクタ デバイス コネクタは、設定されたプロキシサーバでパスワードベースの認証タイプを介して認証できます。</p>

プロパティ (Property)	基本情報 (Essential Information)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• デバイスコネクタには必須のログインクレデンシャルのフォーマットはないので、入力したクレデンシャルがそのまま構成済み HTTP プロキシサーバに渡されま す。ユーザ名をドメイン名で限定する必要 があるかどうかは、HTTP プロキシサーバ の構成によって異なります。</li> <li>• <b>[証明書マネージャ (Certificate Manager)]</b> : 信頼できる証明書のリスト を表示し、有効で信頼できる証明書をイン ポートできます。</li> <li>• <b>[接続 (Connection)]</b> — デバイスコネク タとインターサイト間の接続チェックの 結果を表示します。</li> </ul> <p>デバイスコネクタの構成とトラブルシューテ ィングの詳細については、<a href="#">[デバイスコネクタの 構成 (Configuring Device Connector)]</a> を参照し てください。</p>
[デバイス ID (Device ID)]	デバイス固有のシリアル番号。
[アカウントに対する要求 (Claimed to Account)]	デバイスを要求した Intersight ユーザの ID。
[要求解除 (Unclaim)]	<p>要求済みのデバイスの要求を解除します。</p> <p>(注) デバイスコネクタの要求解除オプ ションは、ターゲットが最初に要 求されたアカウントにアクセスで きない場合か、または Intersight へ の接続が切断され、ターゲットを エンドポイントからローカルに要 求解除する場合にのみ使用してく ださい。ターゲットの要求解除の 詳細については、<a href="#">[ターゲットの要 求解除 (Unclaim Target)]</a> を参照 してください。</p>

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。